

# ★ 援助職の



# ★ ダークサイドについて考える ★

日本では近年まで「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術を受けさせるという国家的な人権侵害が行われてきました。2016年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起こり続けています。相模原市の障がい者施設「やまゆり園」で元職員が入所者19名を殺害し、職員を含め26名に重傷を負わせた悪夢のような事件はまだ記憶に新しいのではないのでしょうか。

本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、援助職（ケアの担い手）による虐待問題と優生思想について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など様々な否定的感情にさらされる援助職のこころの闇（ダークサイド）から虐待や差別を捉える研修です。特に、福祉現場の援助職として「こころの健康」を保ちながら働き続けるうえで役立つ内容ですので、ぜひご参加ください。



日 時：令和2年3月13日(金) 18時～20時

【開場17時30分】

場 所：調布市こころの健康支援センター（本館2階健康活動室AB）

講 師：結城俊哉氏（立教大学・コミュニティ福祉学部教授）

（講師紹介）

専門：障害者福祉論・ノーマライゼーション論・ケア（援助）論・福祉文化論を研究テーマとしている。  
主な著書：単著（2019）『ケアのフォークロア：対人援助の基本原則と展開方法を考える（第3版）』高菅出版、（翻訳書）（2018）『ダウン症をめぐる政治』明石書店、編著（2018）『共に生きるための障害福祉学入門』大月書店、共著（2015）『戦争と福祉についてボくらが考えていること』本の泉社、共編著（2007）『生活支援の障害福祉学』明石書店、単著（1998）『生活理解の方法』ドメス出版、等々。

定 員：40名（受付申込順） 対 象：調布市内在勤の福祉職員

内 容：講義とグループワーク 参加費：無料

申込み方法：FAX・メールにて受付

問合せ・申込み先 調布市福祉人材育成センター（月～金 9：00～17：00）

電 話：042-452-8180 FAX：042-444-3376

MA I L：jinzai@ccsw.or.jp HPアドレス <http://jinzai.chofu-city.jp/>

●「援助職のダークサイドについて考える」研修

FAX：042-444-3376 MAIL：[jinzai@ccsw.or.jp](mailto:jinzai@ccsw.or.jp)

＜参加申込書＞ 下欄にご記入のうえ、FAX・MAILでのお申し込みができます

所属団体		
ふりがな 氏 名	(女・男)	
経験年数	年	
仕事内容		
本研修で学 びたいこと、 現場で悩ん でいること などご記入 ください		
連絡先	電話： MAIL：	FAX：

＜アクセス＞

MAP



京王線 調布駅

中央改札中央口を出て

南側より徒歩12分

京王相模原線 京王多摩川駅

徒歩8分

調布市福祉人材育成センターでは、調布市で活躍する人材の育成をめざし、福祉の専門資格を取得する研修や、専門性を向上する研修などを実施しています。研修の日程などの情報につきましては、ホームページをご覧ください。

●主催 調布市社会福祉協議会こころの健康支援課 調布市福祉人材育成センター

